

羣書類從

二百六十二

庫	文	閣	內
二六函	三三八		和
一六架	九三六		書
	八	號	類

內閣文庫	
番號	和 38368
冊數	91 ( 55 )
函號	261 8



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





Faint vertical text impressions in blue ink on the left page, including a date '天保六年' (Tenpo 6, 1835) and other characters that are mostly illegible due to fading.

天保六年

群書類後巻第百六十二

檢校保己一集



和歌部百十七 家集三十五

忠峯集

云 湯佐貞文、家乃奇合也

春をいぬを野にやうに山をふりてと物にゆるじ

そくみ孫おほをあのりあなれ

疾雨乃本とあ致しを時ふりてをもど形のはりてあ

春日のまのまつりにあめら女車北下をぬれ

大地をみえけりふつりてあ

昔日好の音後をきく生かぬ秋葉はしめふみえく悲ふか  
と乃乃初月右大将乃海風歌

是迄ぬと入らんとも當れらるるぬらういあはしやうにたをぬ  
とぬらういあはぬ物たうに思出さるるぬせせせ  
あはしやうはらさきとにみあさきれめと絶つとに當れぬ  
いとさもうつぬぬらぬも梅花あさる人をもああぬ  
夏花うららふさ乃らういあぬのちりらぬさぬうさき  
あはしやうをのさかたかたあさす唱して人いふらぬら  
あはぬらぬ人のさういふさ里をあはしとぬらぬさ  
夏花はらぬぬらぬさ

く何かといれぬぬらぬ夏花よとらぬらぬらぬらぬらぬ  
あはぬ人あぬとも空蝶のうらに舞うてあはぬらぬらぬ  
秋乃夜月のうらうあぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬ  
久々の月花うらも梅とあはぬらぬらぬらぬらぬらぬ  
秋乃よと人を志すはしぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬ  
山田あぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬ  
あはぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬ  
松乃冬月風乃志く人をあはぬらぬらぬらぬらぬらぬ  
秋乃よと人を志すはしぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬ

中宮乃海風歌

心甲と秋とをあふふくはれ無んたうおめととあつ  
風さし衣わりのほろくそくに秋のふ葉を色はさす  
とみち葉は流るゝあふふとて井に流るゝ葉をくたう  
煙のせは女帝苑をさす

人結くるあふふくあふふくあふふくあふふく  
ふとふ秋さるゝあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふく

あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく

あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく

あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく

あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく

あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく

あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく  
あふふくあふふくあふふくあふふくあふふく

あふふく



ありしわがのちかきつらねのちかきつらね  
あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる

あつはるあつはるあつはるあつはる  
あつはるあつはるあつはるあつはる  
あつはるあつはるあつはるあつはる  
あつはるあつはるあつはるあつはる  
あつはるあつはるあつはるあつはる

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと

あまのくさき花をよみ袖あつとてとつとつと



あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

因幡猪乳花大物の四十巻せう

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

あはれなるものもあはれなる

園小あちあちぬくぬくと成後日書てさるえとつみ  
ありわらむとあし海也さる奇

ほをへくもさうたよさぬさいえあふをわくして今を任ふ  
あはきつらにさるてせぬあつらうこ

くをきけりうとぬあるとをわくせはいふの浪乃  
いふしあおぬん成のさるま

あうきさふ人まらふといふまらふ終 身も志もか  
とぬ葉成とほをまへはえあけ 未乃世まそ

らとくちありいふと作乃とこれふとちうにさるや  
ちるれぬふつらぬさるをとらぬらんあれをさるた

あさゆめく 雲にわらんあはしあちれぬさるも  
おのわえと 心をしんてほしちしん かくあせも

てぬさるちうきまらぬ身ちうしと 情も味乃  
くふささり あさびさるて ぬれりま ちるさるあ

みもきりも 雲くもも ねもちえ次 ちぬまは乃  
うちまてち 何しの風も さうの風も いまのふれ

ちうけさる 春はあふをさひうさ ちるさるい  
あさくらし 妹をけぬよ 種をけち 冬ハあはせ

せぬらぬく ちうさるあ 身あさるい つけらるあ

志らぬ身もよ 一ひくろはばよ ちうりにたま ちうりたま  
 けりくろ乃 老の教さへ せうしきも 身はくろし  
 うらまらき ちうりたま ちうりたま ちうりたま  
 なめくへも 難波のうらに せうしきも 海乃志るま  
 おほいせん ちうりに命 けりけきお ちうりたま  
 ちうりたまの けりくろ乃 ちうりたま ちうりたま  
 をとくろく ちうりたまの ちうりたま 君の八子世  
 ちうりたま

君の世よあふ けりくろ乃 ちうりたま ちうりたま  
 ちうりたま

梅、吉と橋の心もよきたる思を流しけり ちうりたま

ちうりたま ちうりたま

いぢくやとを ちうりたま ちうりたま

秋乃此の秋の ちうりたま ちうりたま

あさひのちうりたま 大井行幸

秋乃此の秋の ちうりたま ちうりたま

人くちのちうりたま ちうりたま

ちうりたま

ちうりたま ちうりたま

紅葉がけり 大井行幸

多くは来乃てわらつじふ言を錦了と先らおとをなえらん  
殊風日くぬる心の女神をさうらとおのゝあをれをさふ

菊 大井初孝

若くもく咲物見花を物ふ物を多とゆて人成るる

をまの石 大井初孝

じくも春立入り輝をさぬつくと藤乃先とつらじ

なひくし草花けのこ

心里にいふも物多と九をれみむつりて我たりと物

危大初乃山登のこ

唯もぬれ坂のつとむつとあち安の敷とて思ぬと

女北のふよとつらあや歌

清もぬれま乃をまら志の海もぬれも人の志をぬれ我を

秋乃の月あな見麻のまらつら物をも移るぬこを人をも

うしとつとあやもわらわをがんとてをがれよとて思ふ

風吹もをいじらるるまらつら思ふも人のまらわら

侘人の衣れうもふくぬせはあれはあをいさあせと

あひ思もぬれをいさあせはあをいさあせと

爰乃ららむと海も入る敷もぬれはあけくたもあふ世も

一をいもあふと思ふもあふとあふとあふとあふと

のこく女乃りてにまらつて物もあふとあふとあふと



伊也此より北き行りて

名ははたたらゆきと人のすむる所は浪をよけり

からせと御題成

いふ人そはらあさふにわらむは面あつておふ

人井乃約事

年あめゆき入るる去るはをたつた波やういふ

同題

あつてとえふあつ松といふては波乃すやあつて

あつて

あつ玉乃年いふまはれはといふては波乃すやあつて

躬恒

あつてとえふあつ松といふては波乃すやあつて

あつてとえふあつ松といふては波乃すやあつて

あつてとえふあつ松といふては波乃すやあつて

鷹

あつてとえふあつ松といふては波乃すやあつて

あつてとえふあつ松といふては波乃すやあつて

あつてとえふあつ松といふては波乃すやあつて

あつてとえふあつ松といふては波乃すやあつて

あつてとえふあつ松といふては波乃すやあつて

陽成院のつひよりてこの國は...

かゝる事ありたりし事人曰る事とみく物なり  
...

あそ乃あせとらされやうとせしむる  
...

おほきりて白雲まはらまひり  
...

おとさるは おと返りつておとさる  
...

あつがゆく ぬきとらふとさかぬり  
...

みえさうさ 公乃やまうぬきつ  
...

こぞ出し 志たれはひとし  
...

うらみは してあつしと思ふ  
...

橋よこわ いかもあつし  
...

みゆりし ぬきつてあつし  
...

